【平成２７年度　北海道旭川東高等学校　学校評議員会報告】

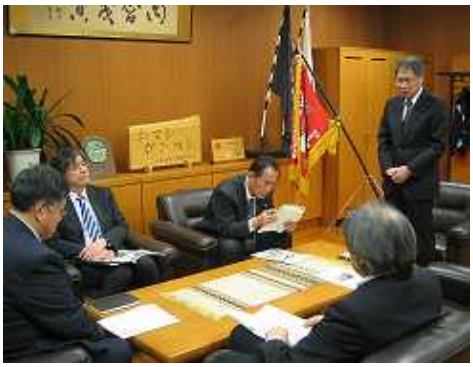
第２回学校評議員会

期　日：平成２８年３月１７日（木）　１８：００～１８：５０

会　場：北海道旭川東高等学校　校長室

出席者：学校評議員２名、校長、全定教頭、事務長　６名

〔本校の現状・学校経営上の課題〕



７月以降の後半期について、生徒は落ち着いた日々を送っている。部活動では新人戦などで全道のトップクラスで活躍するような実績はないが、１・２年生のチーム作りが行われている。

また、３月に卒業した陸上の北口さんは、旭川市スポーツ賞や新人奨励賞わはじめとして受賞ラッシュが続き、改めて優れた生徒が在籍していたことを実感している。

現在、高大接続のあり方の見直しをはじめとした教育改革が進められているが、これまでの知識・技能だけではなく、それらを活用する力を含めた「真の学力」が求められている。本校では、その真の学力を生徒が身につけられるような探求型の授業について、教務部を中心に研究を進めている。同時に、文部科学省の研究指定を受けて、来年度から２年間をかけて研究していくところである、

〔学校評価について〕

（１）　全日制課程

自己評価について、評価が高かった項目と低かった項目について説明

昨年度にくらべ、「明るく活気のある職場環境の形成」が最も評価が上昇した項目である。

保護者アンケート結果について説明。特にPTA活動に対する評価が高かった。

（２）　定時制課程

自己評価について、評価が高かった項目と低かった項目について説明

「『学校だより』やホームページ等を充実させるなど、積極的な情報発信に努めている」が評価の上昇ポイントが高かった。

保護者アンケートについての説明。いじめ防止や早期発見のために、学校と保護者の連携について、昨年度よりも評価が上がっている。

評議委員の皆さまには、年度末というお忙しい時期にも関わらずお集まりいただき、貴重なご意見等をいただきました。本当にありがとうございました。